



うおぬま通信

第10回

保存版

[発行]新潟県 2022年3月 第10回 「地域医療構想」実現へ。～持続可能な医療提供体制を構築していくため、将来を見据えたグランドデザインを策定～



魚沼地域
医療の輪
地域全体でひとつの病院



「地域医療構想」実現へ。

～持続可能な医療提供体制を構築していくため、将来を見据えたグランドデザインを策定～

令和6年度からの医師の働き方改革や今後見込まれる医療ニーズの変化に対応し、持続可能な医療提供体制を構築していくためには、将来に向けて各医療機関の役割分担と連携のあり方を具体化していく必要があります。

新潟県では、令和3年4月に、県内の各構想区域において検討を進めていくに当たっての羅針盤となるよう、目指すべき役割分担のあり方に関する大枠の方向性や、議論に当たって留意すべき論点等を整理したグランドデザインを策定しました。

グランドデザインでは、将来的に維持すべき体制として、専門的医療から在宅医療

まで、関係機関の役割分担と切れ目のない連携により、周産期医療や小児医療を含め、必要な医療が地域全体で一体的に提供される体制等を掲げています。また、その体制の実現に向けては、地域で高度な医療を支える柱となる病院と、地域包括ケアシステムを支える医療機関※の役割分担による体制づくりを検討していくことが重要になります。

魚沼圏域においても、今後、医療機関や関係機関を中心に、将来を見据え、地域に必要な医療を持続的に提供していくための検討が本格的に進められます。

※地域包括ケアシステムを支える医療機関は、概ね、一定の休日・夜間の二次救急患者を受け入れる「救急拠点型」と、サブアキュート機能や他病院等と連携した退院支援機能を中心に担う「地域密着型」に分けられることを想定。

各病院の役割の基本的なイメージ

	地域で高度な医療を支える柱となる病院	地域包括ケアシステムを支える医療機関	
		救急拠点型	地域密着型
脳卒中・急性心筋梗塞等の高度・専門的な治療、手術機能	↑ ↓		
重症患者の救急受け入れ機能			
休日・夜間の救急受け入れ機能		↑ ↓	
サブアキュート機能 (軽・中等症患者の救急受け入れ)			↑ ↓
在宅医療の後方支援機能 (かかりつけ患者の救急受け入れ機能等)			
ポストアキュート機能(長期急性期患者や回復期患者の受け入れ、治療機能)			

(上記以外の機能の役割分担については、別途検討する必要がある。)

魚沼基幹病院「中期経営計画」を策定

～第2回魚沼圏域地域医療構想調整会議で承認～

人口構造の変化に伴う入院医療ニーズの変化や新型コロナウイルス感染拡大、医師の働き方改革など、地域医療を取り巻く変化を踏まえ、中長期的な病院経営の方針として、令和6年度までを計画期間とする「魚沼基幹病院中期経営計画」の策定に向けた検討を進めてきました。

計画の実現のためには、魚沼基幹病院が果たすべき役割を明確化するとともに、周辺医療機関との連携をどう進めていくかが重要であることから、周辺医療機関・

医師会・関係市町などが参加した、2月8日に第2回魚沼圏域地域医療構想調整会議(写真;ホテル坂戸城)が開催され、活発な意見交換が行われ、「中期経営計画」が承認されました。

2月下旬には、魚沼基幹病院を運営する一般財団法人新潟県地域医療推進機構の理事会でも、「中期経営計画」を決定しており、今後、将来ビジョンとして掲げる「地域でひとつの病院」の実践に向けて、取組を進めていきます。



新型コロナ感染拡大を防ぐ取組を強化

新型コロナウイルス感染拡大を受け、魚沼基幹病院は対応方針やマニュアルを定めるとともに、災害対策本部を立ち上げ、病院長をリーダーにして病院全体で対応を進めてきました。

入院患者の受入れにあたっては、「新型コロナウイルス感染症重点医療機関」として、コロナ専用病棟や病床を設け、2月17日現在、累計269人を受入れており、精神疾患を有する方、人工透析を行っている方、小児や妊産婦など幅広く対応してきました。なお、病院運営に当たっては、コロナ患者を受け入れることによって、救急や一般患者の病床確保に支障が生じないように、看護の体制や病棟配置等を工夫しながら運営を行っています。

外来診療に当たっても、病院の玄関脇に発熱者に特化した仮設診療室を設けて対応しているほか、迅速に多くの検査ができるように検査機器等も整備を進めており、PCR検査は2022年1月までに3,763件実施しています。

また、地域の医療機関や福祉施設に感染管理認定看護師を派遣し、医療従事者向けの講習会を開催するなど、地域でクラスターが発生しないよう予防対策にも積極的に取り組んでいます。

市町村等が実施するワクチン接種には、医師や看護師、薬剤師等の医療従事者を延べ419人派遣しており、さらに3回目接種にも協力を行ってまいります。

循環器内科医3名の配置が決定



魚沼基幹病院の循環器内科の常勤医は、平成29年度末に一時的に不在となり、その後、常勤医1名の診療体制となっており、急性心筋梗塞などの緊急性の高い循環器系疾患の救急受入れが難しい状態が続き、中越圏域等へ搬送せざるを得ない

状況にありました。循環器内科医の確保に向けて、新潟大学医局への派遣要請など医師確保の努力を続けてきましたが、このたび、令和4年4月から3名の循環器内科医の配置が決まりました。

循環器内科の診療体制の充実により、今後、循環器系疾患の救急受入れを再開するとともに、高度な検査や手術が可能になります。地域住民の皆様にとっても、より一層の安心につながるよう取組を進めてまいります。

魚沼基幹病院インフォメーション

紹介状をお持ちでない方の「選定療養費」について

魚沼基幹病院は、魚沼地域における救急医療・高度医療の役割を担っており、身近な医療機関から紹介された患者さんを診療し、急性期を経た患者さんを身近な医療機関へ紹介することで、「地域全体でひとつの病院」

の構築に取り組んでいます。こうした役割分担を推進するため、紹介状をお持ちでない方には、以下のとおり選定療養費(初診時、再診時)をご負担いただいております。ご理解とご協力をお願いいたします。

区分	対象	料金(税込み)
初診時	他の医療機関からの 紹介状 をお持ちでなく、魚沼基幹病院を初診で受診される場合	医科 5,500円 歯科 3,300円
再診時	魚沼基幹病院での治療が終了し病状が安定したため、他の医療機関へご紹介した後に、紹介状をお持ちにならずに再度魚沼基幹病院の受診を希望される場合	医科 2,750円 歯科 1,650円

(注)徴収の対象外になる場合は以下のような場合です。(一例)
●救急車で搬送されるなど救急の場合 ●特定の疾病等により各種公費負担の対象となっている場合
●医科と歯科の間で院内紹介された場合

救急外来の受診について

救急外来を受診される場合には、**事前に電話で病院にご連絡くださるようお願いいたします。**

初診で紹介状をお持ちでない場合は、選定療養費をご負担いただきます。また、救急外来を受診される患者さんに対し、緊急度・重症度を判定し、より早期に診療が必要な患者さんから優先して診療する

院内トリアージを実施させていただきます。そのため、緊急度・重症度によっては、診療の順番が前後し、待ち時間が長くなる場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

看護職員募集について

魚沼基幹病院では、笑顔で人と関わるのが大好きな看護職員を求めています。

★オンライン相談会ははじめました。

「もっと知りたい」と思った時に、サクッと気軽に参加できるオンライン相談会をご用意しました。月2回開催し、魚沼基幹病院の看護職員が個別対応します。疑問解決とともに魚沼基幹病院スタッフの温かい雰囲気をお届けします。

※対象者：看護職員(経験者限定)

★インスタから情報発信中!!

看護師確保委員をはじめとする広報PRチームメンバーが主体となり、魚沼基幹病院の魅力を発信しています。ワイワイ楽しく活動しながら、見ている人も楽しめるように取り組んでいます。



フォロー&いいね
♥お待ちしております。



魚沼基幹病院
インスタ部(UKB)
@uonuma_kikan_hospital



加入
無料

米ねっとカード

お申込み方法お問い合わせ

魚沼地域の医療と介護を支える大切な仕組みです

大人から子供まで うおぬま・米ねっと

- 魚沼地域(十日町市・魚沼市・南魚沼市・湯沢町・津南町)の病院、診療所、調剤薬局や介護施設などをネットワークで結びます。
- 患者さんの診療情報と介護情報、検査結果、お薬の情報など、参加機関同士で共有し診療、緊急搬送時にスピーディに対応。

NPO法人 魚沼地域医療連携ネットワーク協議会
TEL025-788-0485(平日8時30分～17時)
HP: <http://uonuma-mynet.org>